

UNIC CARRIER

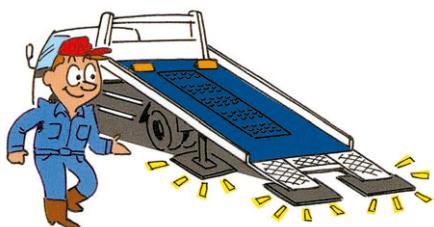
SAFETY CHECK

ユニックキャリア
セーフティーチェック

キャリアカーに車両を積み込むまえには

①-1 地盤の堅い場所を選んでください。

※不整地などで作業するときはリヤステー、荷台後端および後アオリ先端部に、鉄板などの受け台を敷いてください。



①-2 できるだけ平坦な場所を選んでください。

※やむをえず坂道などで作業するときは、必ず後輪に車輪止めを使用して、キャリアカーを固定してください。



② キャリアカーのパーキングブレーキをシッカリ掛けてください。

※エンジンレバーの中立を確認してから、エンジンを始動させてください。

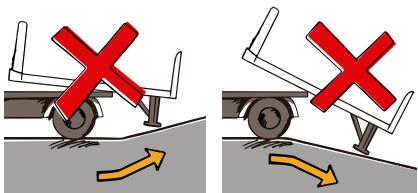


③ クラッチペダルをいっぱいに踏み込みPTOスイッチを“ON”にしてください。

※ONになると、PTO作動確認ランプ(メーターパネル部)が点灯します。またキャリアカーによっては油圧ポンプが作動するまで5秒程度かかることがあります。



①-3 キャリアカー後方が傾斜している場所(後ろ上がり、後ろ下がり)では使用しないでください。

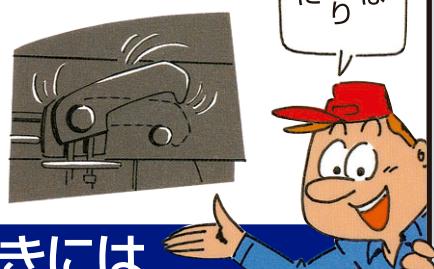


④ 荷台ロック装置の解除を確認してください。

※操作準備完了です。冬期は5~10分ほど暖気運転を行ってください。

※荷台ロック装置が解除されていない場合は荷台前進操作を行ってください。

慎重に積載はつくり



キャリアカーに車両を積み込むときには

⑤ 周辺および後方の安全を確認してください。

※作業を行うときは後方に6.5m+(積載車両)のスペースを確保してください。またスライド操作時は、必ず後アオリを格納しておいてください。



⑥ 積載車両は荷台中央より前に、また荷台幅を中心に重心がくるようにしてください。

※アンバランスな状態で、車両を積載すると荷台スライド時に、キャリアカー前方が浮き上がったりシャーシフレームに異常な荷重が加わり危険です。



⑦ 荷台をスライド途中で放置しないでください。



⑧ 荷台をスライドさせたままで、キャリアカーを移動させないでください。

※リヤステー、荷台後端および後アオリなどを破損するおそれがあります。



⑨ 積載車両の重量が最大積載量を超えていないか確認してください。

※過積載は違法! キャリアカーの故障や事故の原因にもつながります。



UNIC

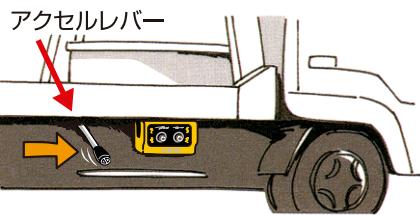
ウラ面に続く→

車両の積載を完了しました、その後に。

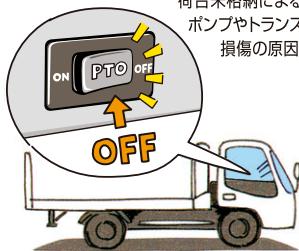
キャリアカーの走行前には

- ⑩ アクセルレバーを必ず「低速」側に戻してください。

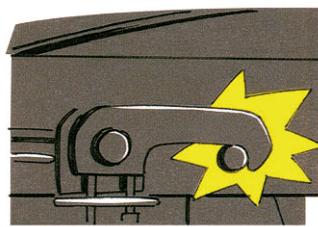
※低速に戻っていないと、キャリアカーが急発進するおそれがあり危険です。



- ⑪ PTOスイッチをOFFにしてください。
※荷台格納及びPTO作動確認ランプ(メーターパネル部)の消灯を必ず確認してください。PTOを切らずに走行すると、荷台未格納による事故、油圧ポンプやトランスミッション損傷の原因になります。



- ⑫ 荷台ロック装置が荷台をロックしているか確認してください。



- ⑬ キャリアカーの走行前に積載車両が荷台にシッカリ固定されているか確認してください。

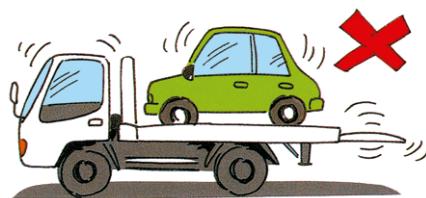
※積載車両はギヤを入れバーチングブレーキをかけ、荷締機などで確実に固定してください。

各部が終了したら
作業をチェック!



- ⑭ 車載専用型キャリアカーは、後アオリを倒して走行しないでください。

※車載専用型キャリアカーは法規上、後アオリを倒して走行することが禁止されています。走行時は必ず閉じてください。



- ⑮ リヤステーや荷台にフックを取り付けて故障車両などを牽引しないでください。

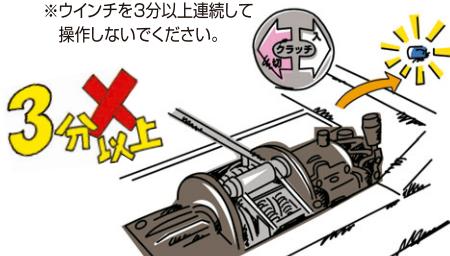
※リヤステーや荷台の変形などの原因になります。



ワインチ作業時には

- ⑯ 卷上げ、巻下げ操作はワインチのクラッチを「入」にし、クラッチ確認ランプの点灯を確認した後に行ってください。

※ワインチを3分以上連続して操作しないでください。



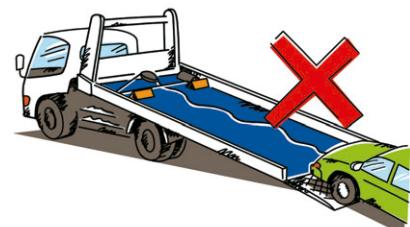
- ⑰ 卷上げ、巻下げ作業中はワインチのクラッチを絶対に「切」にしないでください。

※積載車両がすべり落ちる等、重大な事故につながるおそれがあります。



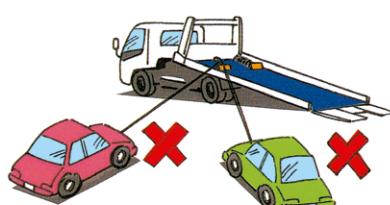
- ⑱ 卷下げ時、ワイヤロープがたるまないように操作してください。

※積載車両が急に動くと衝撃でワイヤロープやフックが破損し積載車両がすべり落ちる等、重大な事故につながるおそれがあります。



- ⑲ 積載車両などを斜めおよび横方向から絶対に引き上げないでください。

※異常な負荷がかかりワインチの故障につながったり、荷台・装置が変形したり、キャリアカー自体が転倒するおそれがあります。



- ⑳ 走行時、ワインチで積載車両を固定しないでください。

※キャリアカーの走行時にワイヤロープがゆるみ、事故の原因につながるおそれがあります。



- ㉑ ウィンチ作業中は、ワイヤロープや引き上げ車両(積載車両)に近づかないようにしてください。

※ワイヤロープが切れたとき、ワイヤロープが跳ねたり、引き上げ車両(積載車両)が急に動きだし事故の原因となります。

